



社協だより ⑫



親子食育講座

も く じ

- 共同募金運動について P 2
- 親子食育講座 P 3
- 地域サロン P 3
- 高齢者相談・地域福祉委員 P 4
- 在宅福祉課 P 4～P 5
- 地域支え合いセンター P 6
- 社協情報 P 7
 - ・ひきこもり相談窓口
 - ・もの忘れ相談室
 - ・いきぬこ～会
 - ・コミュニティソーシャルワーカー（CSW）事業
 - ・心配ごと相談
- 地域サロン／地域を支えるふくしの輪 P 8

共同募金運動について

共同募金のつかいみち

前回の社協だより11月号では、共同募金の歴史や益城町での共同募金運動についてご紹介しました。今回は、益城町での共同募金実績とつかいみちについてご紹介します。

集められた募金は、全額熊本県共同募金会へ送金しています。そして、翌年度に広域配分と地域配分に分けて配分されています。

広域配分は、熊本県内の社会福祉施設やNPO法人、保育所等に配分されています。

地域配分は、募金を集めた市町村の社会福祉協議会へ配分されています。

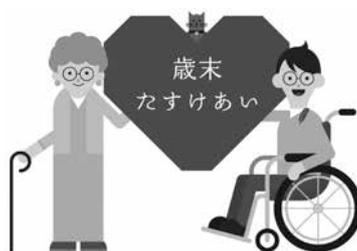
1. 募金実績（令和2年度）

㊦赤い羽根共同募金実績

募金種別	金額
戸別募金	3,282,900 円
法人募金	1,217,930 円
職域募金	220,504 円
ワッペン募金	125,062 円
自動販売機募金	181,068 円
その他	87,450 円
小計	5,114,914 円

㊧歳末たすけあい募金実績

募金種別	金額
戸別募金	2,198,950 円
竹筒募金（老人会）	264,349 円
その他	1 円
小計	2,463,300 円
合計	7,578,214 円



2. 配分金実績（令和2年度）

㊦共同募金配分金収入 5,927,308 円

㊧共同募金配分事業支出内訳

事業名	詳細	金額	事業名	詳細	金額
ふれあい交流会	メッセージカード配布（708世帯）	156,185 円	ふるさとづくり助成事業	公園等整備助成	9,700 円
親育ち支援事業（親子ヨガ講座）	11/18、25（25名参加）	31,170 円	ボランティア協力校事業	町内7小中学校	346,150 円
地域サロン	49か所55地区	30,330 円	小地域活動配分金	67行政区	304,250 円
災害ボランティアバス（球磨村）	9/26、10/24（56名）	220,656 円	ホームページ作成	広報活動	880,660 円
共同募金報告会	9/29	3,528 円	見舞事業	歳末たすけあい見舞750世帯	1,176,210 円
福祉団体助成	7団体	1,256,000 円	調査・広報事業	社協だより等	297,350 円
小計		4,712,189 円	※ 収入との差額1,215,119円は次年度へ繰り越しています。		

募金の「し・か・た」

募金の方法はいくつかあります。一つは各市町村で行っている共同募金運動です。それ以外にも、街頭募金やお店に置いてある募金箱もあります。そして、ネット募金という方法もあります。これは、自宅やスマートフォン等でインターネットを通じて募金を行う仕組みで、赤い羽根共同募金だけでなく、被災地の活動を支援する「ボラサポ」や社会課題の解決を目指す取り組みを応援する「赤い羽根福祉基金」等を選んで募金することができます。

コロナ禍において、ネット募金は有効な手段となっています。また、赤い羽根共同募金は、都道府県・市町村を選択して募金することができます。益城町のQRコードを掲載していますので、機会があればぜひ活用ください。

今後とも皆様のご協力をよろしくお願いたします。



親子食育講座

「食」について学ぶ

10月22日（金）、29日（金）に開催し、それぞれ5組の親子が参加されました。

今回は、広崎2町内公民館で町役場健康保険課の徳永管理栄養士と紫垣保育士に「頑張りすぎない食育の「コツ」」「食育絵本の読み聞かせ」について講話をしていただきました。参加者からは、子どもの食事の好き嫌いや月齢に合わせた食事内容などについての心配

ごとを話していただきました。絵本の読み聞かせでは、日頃から聞きなれている絵本が登場すると子どもたちはそばに寄って、手をたたいて喜んで真剣に聞き入っていました。「祖母から親子講座があるのを聞いて申し込みました」「食事がワンパターン化していましたが、他の方法などを聞き参考になりました」等の感想をいただきました。



地域サロン

五楽しらゆり会が再開しました

五楽しらゆり会が10月から約3年半ぶりに地域サロンを再開されました。当日は14名が参加され、区長の花田さんから「五楽の集まりの場所として皆さんで盛り上げていきましょう」と話され、サロン代表の古閑森さんは「定期的に顔を合わせて、おしゃべりしたり、笑ったりすることは良いことなので、楽しい会になるようみなさんで考

えていきましょう」と挨拶されました。この日は、御船保健所から「手洗いちェッカー」を借りてこれら、日頃の手洗いの癖や洗い残しの注意点などについて、皆さんで確認されました。今後は、毎月第2水曜日13時30分から五楽公民館で開催されます。



高齢者相談・地域福祉委員

第2回例会

10月11日(月) 木山仮設団地東集会所で、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため3回(①広安・木山校区、②飯野・津森校区、③広安西・福田校区)に分けて開催しました。

今回は、講師に一般社団法人minori代表理事の高木聡史さんをお招きし「見守り・訪問支援について」講義をしていただきました。皆さん講師の話をして折メモを取りながら真剣に聞かれました。コロナ禍で訪問も控えていたが、少しずつ以前のように積極的に訪問を再開したいとの声もありました。



広安・木山校区



飯野・津森校区



広安西・福田校区



講師の高木聡史さん

コロナ禍で活動が制限されることが多く、日頃の活動に悩みを持っている委員さんも多く、研修後の意見交換会では、見守り活動を行うためには関係づくりが大事であること、また自分の体調に気をつけながら、楽しく活動していきたいなどの感想が聞かれました。

在宅福祉課

在宅介護者のつどい代替事業

10月19日(火)から民生委員児童委員の皆さんの協力のもと、在宅介護者のつどいの代替事業でフラワーエコポットと「ことだま通信」の配布を行いました。コロナ禍の影響もあり、コロナ禍前のような在宅介護者のつどいが開催できないため、皆さんが「ホッと一息」できそうな楽しむ機会を持つていただきたく企画しました。



ご家族の介護の合間に気分転換ができれば幸いです。受け取られた皆さんから「花が咲くのが楽しみです。今芽が出て、細い茎ががんばっていますので、日向に出したり、日陰に入れたりして愛情を注いでいます。ことだま通信は色々な情報が伝わりました。情報源となつて良かったです」といった言葉も寄せられました。

在宅介護者のつどいのご案内

介護者同士が情報交換できる交流の場や心身のリフレッシュを目的に開催しています。今回は茶話会を計画しています。日頃、介護する中で感じていること、困ったこと等を話し合ってみませんか。

日時：12月16日(木)

10時から11時30分

場所：保健福祉センター工作室(2階)

会場の都合上、概ね10名までとさせていただきます。

申し込みは地域の民生委員または社協までお願いします。

電話：214-5566(在宅福祉課)

在宅福祉課（認知症地域支援事業）

花カフェ（認知症カフェ）

11月10日（水）に木山仮設団地西集会所で開催しました。久しぶりの開催でしたが、母親の介護をされている方の参加もあり、スタッフとの交流で楽しい時間を過ごしていました。スタッフの中に母親の知人もいて、お母さんとの昔話に花が咲き盛り上がっていました。「母の施設の看護師さんから紹介してもらいました。こんな会があつて良かった。これから月に1回の開催を楽しみにしています」と話されていました。

スタッフも、コロナ禍の影響がそのまま落ち着けば、開催回数を増やしていきたいと話されていました。

花カフェ（認知症カフェ）とは

認知症の人と家族、地域住民や介護の専門職など、様々な人が気軽に参加し、お話やお茶を楽しみながら交流できる場として定期的に開催しています。

現在は、コロナ禍の影響で不定期開催となっていますので、次回は社協だよりやホームページ等でお知らせします。



スタッフの皆さん

講座を受講されませんか

当協議会では、学校や企業、団体等の依頼により認知症サポーター養成講座を開催しています。認知症は誰にでも起こりえる病気であり、日常生活や仕事の中でも対応をすることがあると思います。

そのような時のためにも、ぜひ受講してみませんか。時間は60分から90分です。ご都合に合わせて調整します。費用は無料です。

お問い合わせ：在宅福祉課

電話：214-5566

11月5日（金）広安西小学校5年生125名を対象に開催しました。講座は各クラスに分かれて行い、活発な意見が出されました。「記憶のツボ」の模型を使って、脳の中から記憶（カプセル）を取り出すシーンでは先生に協力していただき、先生の記憶を取り出しました。興味深く見たあとに「あつ、そつだったんだ」と歓声が上がっていました。認知症になるとこのツボが小さくなって記憶がごぼれ、病気で記憶を取り出せなくなることを説明しました。認知症の方への対応では「できることを手伝いたい」という感想もあり、あつという間の時間でした。

認知症サポーター養成講座



広安西小学校5年生3クラス。この日125名のサポーターが誕生しました。

地域支え合いセンター

今回は、木山仮設団地で活動している「傾聴ボランティアくまもと」と10月に開催したお茶会を紹介します。

お問い合わせ ☎289-6092

傾聴ボランティアくまもと 「お茶カフェ」

木山仮設団地での活動は令和2年4月からですが、以前から他の場所で活動を続けられてきました。参加者から「傾聴してくれたから自分自身を見つめ直すことができた」と言ってもらった時は寄り添うことができていたんだなと、とても嬉しかったですと話されたのは中村典子さんです。



皆の思いを吐き出す場、集まる場所として今後も続けていく予定です。誰かと話したい時や話を聞いてほしい時はぜひ来てください。
毎月第4木曜日の13時から15時まで
木山仮設団地西集会所で行われています。



お茶会

10月17日(日)に木山仮設団地で今年度2回目のお茶会を開催しました。気候も良かったので、新型コロナウイルス対策も兼ねて東集会所の外で行いました。

当日は、木山仮設団地、みなし仮設住宅、木山下辻団地等にお住まいの方約30名が集まりました。住民やボランティア、シルバー人材センター会員が作った野菜や手芸品の販売のほか、熊本地震から支援活動をされているBULBY(バルビー)よりポップコーンの配布などがあり、にぎわっていました。久々に再会した方もいたようで終始笑い声が聞こえていました。



社協情報報

当協議会で行っているイベントや相談日等を掲載しています。詳細は、お気軽にお尋ねください。

ひきこもり相談窓口

「ひきこもり」で困りごとはありませんか。

「ひきこもり」は、誰にでも起こります。特別なことでも恥ずかしいことでもありません。悩みや苦しみを抱える前に「お悩み」や「気になっっていること」など、あなたのタイミングで気軽に相談ください。

ご家族からの相談やお知り合いの方からの相談もお受けします。どのような制度があるのかのお尋ねだけでも構いません。

相談は、随時受け付けていますのでお気軽にご相談ください。

問 地域福祉課

☎ 214-5566

県ひきこもり地域支援センターゆるこい(☎386-1177)でも相談可能です。

もの忘れ相談室

認知症に関する悩みや不安を一緒に考え、医療機関や介護サービス等、必要な機関にご紹介する相談室を開設しています。また、介護に対する悩み相談も受け付けています。

相談日 12月21日(火)

13時30分から

14時30分から

15時30分から

場所 役場仮設庁舎1階会議室

※事前予約制です。

問 在宅福祉課

☎ 214-5566

いきぬこし会

自宅で介護を行っている方が、集まって互いに話をする事で少しでも「息が抜ける」、「がんばって生き抜ける」場所として毎月第2水曜日に開催しています。

日時 12月8日(水)

13時30分から

場所 木山仮設団地西集会所

益城町木山866-1

内容 クリスマスカード作成

※参加費無料、申込不要

問 在宅福祉課

☎ 214-5566

コミュニティソーシャルワーカー(CSW)事業

CSWとは、どこに相談したらよいか分からない悩みごとや困りごとを受け止め、支援機関との連携や制度・サービスを活用しながら困りごととの解決を目指す地域の身近な相談員です。

ご相談は高齢、障がい、子ども、生活困窮など分野の枠組みに捉われず、総合的にお受けしてご本人やご家族と困りごとの解決に向けて一緒に考えていきます。

問 地域支え合いセンター

☎ 289-6090



心配ごと相談

日常生活のちょっとした心配ごとに対して相談を受け付けています。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、基本的に電話での対応のみとさせていただきます。相談内容によっては個別面談による相談も受け付けます。まずはご連絡ください。

日時 毎週水曜日

10時から12時、13時から15時

電話 080-8427-8981

場所 役場仮設庁舎1階相談室

※相談員は左記の表をご覧ください。変更になる場合もあります。

問 地域支え合いセンター

☎ 289-6092、289-6090

日程	専門相談員	相談員	
12月8日(水)	松尾英美 (司法書士)	牧村俊一 (人権擁護委員)	水上弘範 (民生児童委員)
12月15日(水)	松尾一 (行政相談委員)	野口泰喜 (人権擁護委員)	石原昌博 (民生児童委員)
12月22日(水)	橋場紀仁 (行政書士)	大塚慶子 (消費生活相談員)	岡崎礼子 (民生児童委員)
12月29日(水)	年末年始(休みです)		
1月5日(水)	松尾英美 (司法書士)		軸丸雅子 (民生児童委員)

～つながる地域・住みよいまち～

地域サロン

☆小池秋永・下原 小秋の会

場所：小池秋永公民館

日時：毎月22日 13時30分～



☆安永1町内 元気サロン

場所：安永1・2町内公民館

日時：毎月第2金曜日 10時～



☆蛭子町 よかばーい

場所：miraibaco (みらい箱) (スーパー・キッド横)

日時：毎月第2月曜日 13時30分～



☆上小谷 いてみろかい

場所：上小谷公民館

日時：毎月第3月曜日 13時30分～



地域を支えるふくしの輪

セブン-イレブン・ジャパン様 (フードドライブ事業)

令和2年11月の店舗改装時等に発生する在庫商品の寄贈に続き、今回はセブン-イレブン・ジャパンの有志の方々から集められた食料品や日用品等を当協議会に寄贈いただきました。担当の北岡様からは「熊本地区事務所での「2021年食品ロス削減月間におけるフードドライブ」へのご協力をはじめ、日頃から取り組みへのご賛同、ご協力を賜り感謝申し上げます。今後も町のお声を伺いながらみなさまのお役に立てるよう努めてまいります」と話されました。

当協議会の事業や支援を必要としている方への配布に活用させていただきます。ありがとうございました。

誰もが安心して暮らせるまちづくりを支えている方々の活動をご紹介します。



2021
12月号
(No.285)

発行/社会福祉法人 益城町社会福祉協議会 会長 西村 博則
〒861-2233 熊本県上益城郡益城町惣領1470
※益城町保健福祉センター (はびねす) 内
TEL 096-214-5566 FAX 096-214-5567
ホームページ <https://www.mashiki-shakyo.or.jp/>

